

氏名(本籍)	村尾 佳子(大阪府)		
学位の種類	博士(学術)		
学位記番号	甲第 359 号		
学位授与年月日	令和 2 年 3 月 18 日		
学位授与の要件	学位規則第 4 条第 1 項		
研究科・専攻名	工学研究科・基盤工学専攻		
学位論文題目	Research on Process, Components and Communication of Family Business Succession		
論文審査	(主査) 高知工科大学	教授	那須 清吾
	高知工科大学	特任教授	永野 正展
	高知工科大学	准教授	生島 淳
	高知工科大学	准教授	上村 浩
	高知工科大学	准教授	中川 善典

審査結果の要旨

1.論文の評価

審査委員の一致した評価としては、

1) 既存研究ではファミリービジネスの事業承継のプロセスに関わる内容と留まっている。本論文は、承継すべき要素を指摘した上で、コミュニケーションプロセスで重要な場としての近親者の存在や先代の機能を代替する所謂番頭さんの様な支援者の機能を明らかにした。

本論文が対象としているファミリービジネスの事業承継では、自社らしさとしての先代の経営に対する考え方やそれが具体的エピソードや家訓等で表現されている内容及び本質が伝承され理解されているか否かである。それがその企業の経営特性や経営戦略として体现されている。事業承継のためのコミュニケーションが成功している企業において、何が伝承されているかを指摘したことが本論文の重要な新規性である。また、そのプロセスにおいて支援者の存在の機能を指摘していることも同様に新規性である。以上の点について既存研究には無い新たな知見として導出した点が評価された。

2) 予備調査段階で承継要素抽出の為に 100 人以上のインタビューを実施するなど、その後の研究活動も成果を出す上で十分であると評価出来る。研究エフォートも平均的な学生を越えている。

3) 最終的に提出する論文では、自社らしさとファミリービジネスの経営の関係性、コミュニケーションの隠れた前提部分と支援者の存在等について明確にすることを意見を踏まえて、論文を修正した。

4) 査読付き論文が 2 件ある。

以上の結果、審査に合格した。

2.審査の経過と結果

(1) 令和 2 年 1 月 8 日 博士後期課程委員会で学位論文の受理を決定し、5 名がその審査委員として指名された。

(2) 令和 2 年 2 月 14 日 公開論文審査発表会及び最終試験を実施した。

(3) 令和 2 年 3 月 5 日 博士後期課程委員会で学位授与を可とし、教育研究審議会で承認された。